

【R5年度】重点目標の取組・概要（取組名：岸和田城を中心とした観光コンテンツの醸成及び観光客の誘致[観光振興事業]）

担当課（内線）	観光課（内線2805）	重点目標の方向性	地域経済の軸となる産業・観光の活性化
重点目標	経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	観光資源の磨き上げや新たな観光資源の創出を支援する

現状と課題

・歴史的・文化的価値のある建物はあるものの、観光客誘致に上手く活用できていない。

（岸和田城やその石垣、二の丸広場、五風荘等）

・だんじり、城下町以外にもある魅力・ポテンシャルを發揮できていない。

（食・文化・スポーツ施設等）

課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）

【中期的(4～5年後)にめざす成果】

・観光資源や地域資源を活用した魅力的な観光コンテンツが醸成され、効果的な情報発信ができ、観光客が増加している状態をめざす。

【成果に向けての各年度の進め方】 ※令和6年度以降の観光振興事業の進め方については、第3次観光振興画策策定の上推進予定。

① コンテンツの磨き上げ

R4 食や食材の背景を収集・整理し、コンテンツ化に取り組む。（観光庁の看板商品創出事業において泉州の食材を生かしたメニューの作成を予定）

体験プログラム（漁業・農業・観光体験等）の開発と実証実験、プロモーションを行う。

城下町泊実証実験を実施する（R3～R5）。

R5 i 岸和田城を中心とした観光資源の情報発信を行う。

ii 開発した体験プログラムを基に観光資源に触れる機会の創出となるよう着地型観光実施に向けた事業者の掘起し・連携・支援を行う。

R6以降 コンテンツの磨き上げとプロモーションを検討する。

② 受け入れ体制の充実

R4 関西の留学生との交流や留学生エキスポでのワークショップなどを行う。また、おもてなしの環境整備となるよう教育機関との連携について検討を行う。

R5 i 岸和田ボランティアガイドの養成講座の実施や、ガイドツアーの実施など連携して事業を実施する。

ii 教育機関と連携し、人材の育成（情報の整理・継承）に取り組む。

R6以降 次世代を担う子どもたちが郷土愛を育めるような働きかけを行う。（イベント・校外学習・講座等）

③ 情報発信の強化

R4 多言語対応の観光マップを紙媒体・ウェブサイトに掲示できる電子媒体（PDF）で作成し、市内周遊のモデルコースや観光資源の情報発信を行う。

情報発信の一つのチャンネルとして、テレビや映画の撮影を通じた魅力発信を図る。

R5 i SNSを活用したイベントの実施や、ロケ地の映像配信などにより本市の魅力発信を行う。

ii 幅広い世代の方に本市の魅力を知ってもらうきっかけとなるよう、留学生含め大学生や一般の方が気軽にSNSなどを活用して本市の魅力を発信いただけるようなハッシュタグを付けて投稿を促すなどの仕掛けづくりに取り組む。

R6以降 撮影協力を継続し、市内のコンテンツを題材とした映像作品や情報番組等のロケ地誘致に取り組む。

R5年度の事業費（内訳）

① i

岸和田城・観光交流センターの企画提案事業（3,600千円）

岸和田だんじり会館の企画提案事業（1,500千円）

① ii・② ii・③ ii

観光振興事業委託料（3,449千円）

岸和田市観光振興協会への補助金

② i ③ i まち歩き観光推進事業（3,000千円）

取組の進捗・成果を測る指標

・岸和田城・二の丸広場観光交流センター入込客数
50,988人(R3)⇒65,196人(R4)⇒68,484人(R5)⇒68,724人(R6)⇒68,964人(R7)※二の丸広場観光交流センターR4.4.29リニューアルオープン（指定管理者変更）

・岸和田だんじり会館入込客数

11,453人(R3)⇒11,573人(R4)⇒11,693人(R5)⇒31,000人(R6)⇒32,000人(R7)※R5年度未リニューアルオープン予定

・観光振興協会公式サイト「岸ぶら」月間訪問者数
34,864人(R3)⇒35,000人(R4)⇒35,100人(R5)⇒35,200人(R6)⇒35,300人(R7)

・広報きしわだアクセス件数（観光施設・イベント掲載（だんじり祭を除く））
143,085件(R3)⇒144,000件(R4)⇒145,200件(R5)⇒146,400人(R6)⇒147,600人(R7)

・ロケ地の誘致回数

13回(R3)⇒14回(R4)⇒15回(R5)⇒16回(R6)⇒17回(R7)

R6年度以降の想定事業費（ランニング経費）

・（R6）委託料（5,000千円）補助金（11,000千円）

・（R7）委託料（5,000千円）補助金（11,000千円）

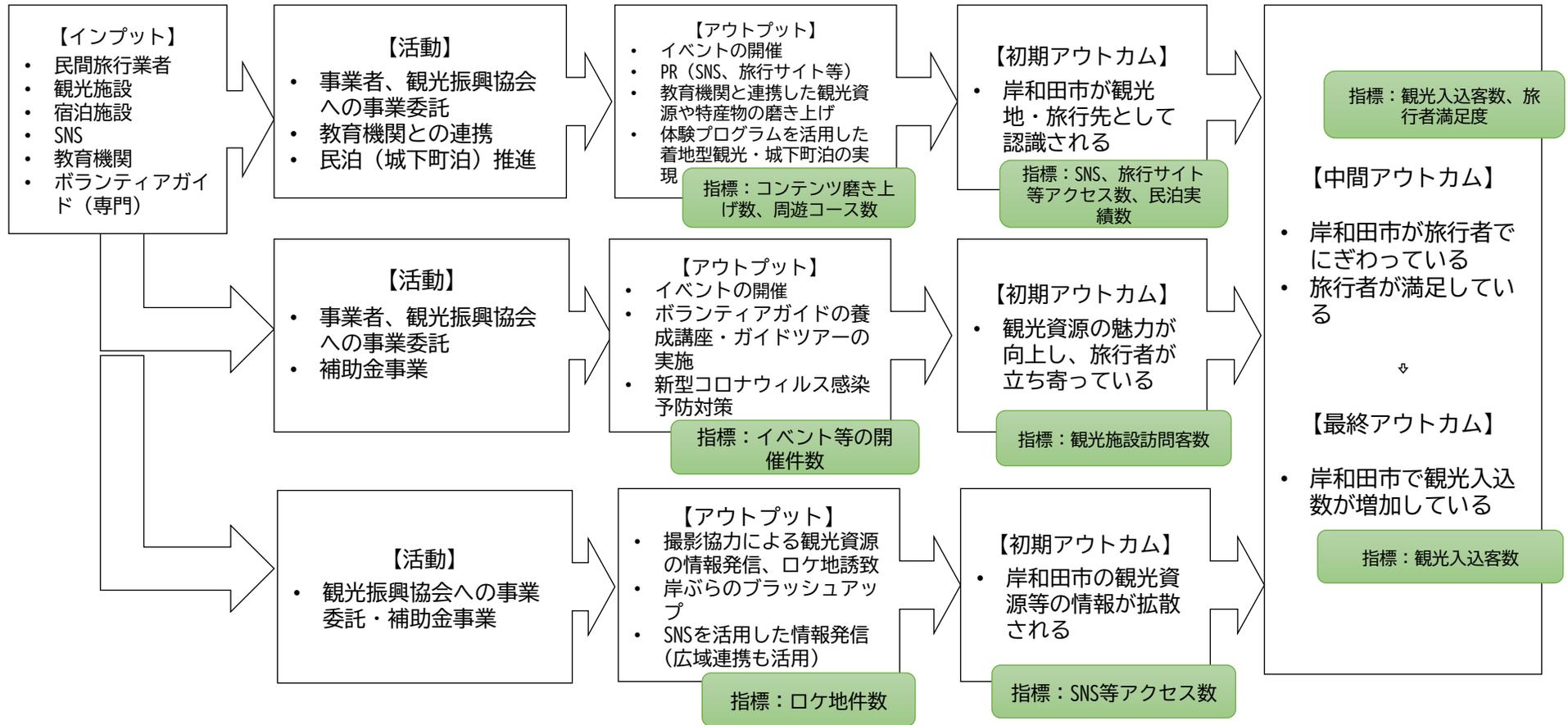
・（R8）委託料（5,000千円）補助金（11,000千円）

成果・指標が未達成の場合の取扱い

- ・（R6）前年度を踏まえ改善
- ・（R7）前年度を踏まえ改善
- ・（R8）SNS活用を踏まえ改善
- ・（R9）SNS活用を踏まえ改善

【R5年度】重点目標の取組・ロジックモデル（観光コンテンツの醸成及び観光客の誘致[観光振興事業]）

ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【財源】

- 地方創生臨時交付金（R4 体験プログラム（漁業・農業・観光体験等）の開発と実証実験、城下町泊実証実験）

【他団体の状況】

- 静岡県掛川市で、民泊事業セミナーの開催

【R5年度】重点目標の取組・評価シート①（岸和田城を中心とした観光コンテンツの醸成及び観光客の誘致）

担当課（内線）	観光課（内線2805）	重点目標の方向性	地域経済の軸となる産業・観光の活性化
重点目標	経済・交流が活発な岸和田の実現	行政の役割	観光資源の磨き上げや新たな観光資源の創出を支援する

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 観光資源や地域資源を活用した魅力的な観光コンテンツが醸成され、効果的な情報発信ができ、観光客が増加している状態をめざす。

■ R5年度において実施・実現できたこと

- レンタル着物で岸和田城下町のまち歩きなど7コンテンツを販売
→74件193名（うち外国人）17件49名
- ボランティアガイド養成講座の実施 11回 延べ76名
→新規ガイド登録人数 8名
- 和歌山大学浪切サテライトで岸和田を題材の講義を実施 16名
- 国際交流プログラムの実施 城周辺見学とワークショップ 高校生13名（うち留学生5名）
- 市内周遊事業インスタグラムキャンペーンの実施（11/1～11/30）→投稿総数写真978点、投稿者数201名
- ロケ支援15件（民放ほかインターネット動画など）
- お城イベント #岸和田城によるSNS登録キャンペーンお城EXPOほか 約600件

■ R5年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- コンテンツの磨き上げ
- 受け入れ体制の充実
- 情報発信の強化

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R5年度実績値
○	岸和田城・二の丸広場観光交流センター入込客数	人	50,988（R3）	68,964（R7）	137,197（R5）
○	岸和田だんじり会館入込客数	人	11,453（R3）	32,000（R7）	36,843（R5）
○	観光振興協会公式サイト「岸ぶら」月間平均アクセス数	人	17,868（R5）	20,000（R7）	17,868（R5）
○	ロケ地の誘致回数	回	13（R3）	17（R7）	15（R5）

■ R5年度において実施・実現できなかったこと

- 岸和田城の認知度向上のため、お城の情報発信は積極的に情報発信したが、周辺施設を含めた面的な発信ができていない。
- 市民向け講座の開催など、歴史・文化の継承のための事業が実施できていない。
- ロケ支援を行ったが、ロケ地になったことを情報発信に活用できていない。



■ ロジックモデルの振り返り

- ロジックモデルにおいて設定したとおりの活動及びアウトプット産出を実施できたが、狙ったアウトカムが発現していない。
- アウトカムとしては現在の設定で変更はないため、事業手法の見直しを進め、アウトカムの発現に資する活動及びアウトプットへと改善していく。



■ 課題分析

- 城周辺エリアとしての面的な情報発信や、丘陵地区から城周辺エリアへの誘客など周遊を促す観光の動機付けが必要。
- 地域資源の魅力発信や掘り起こしが進んでいない。
- 観光情報を発信するための機運醸成ができていない。



■ 次年度以降の予定・改善内容

- 令和6年度に「岸ぶら」のリニューアルを行い、情報発信の強化を進める。
- 観光情報の発信するため、インフルエンサーや有料観光情報サイトを活用する。
- 周遊を促進するSNSを活用したイベントを実施する。
- 市民・事業者向けに観光振興に取り組む機運醸成を図る。